

委員会の動き



議会運営委員会

◎日里 雅至 ○今大栗 利一民 谷萩 正文之
◎日里 雅至 ○今大栗 利一民 谷萩 正文之



経済建設委員会

◎天日 公子 ○広瀬 寛人 今里 利一
◎天日 公子 ○広瀬 寛人 今里 利一



議会改革特別委員会

◎岡本 俊 ○菊地 敏 本間 敏
◎岡本 俊 ○菊地 敏 本間 敏



議会広報特別委員会

◎今利 ○大栗 民 本間 敏
◎今利 ○大栗 民 本間 敏

可決された意見書

◇第1回定例会に議員提案された意見書は次の3件です。意見書は可決後、直ちに関係機関に送付しました。

●TPP交渉参加に関する意見書
(今 利一議員外6名)

〔概要〕TPPは様々な分野に影響が及ぶ懸念があり、国民生活の根幹に関わる重大な問題として、交渉への不参加及び多様な農業共存を明確に位置づけた貿易ルールの確立と、重要品目の必要な国境措置の維持を求める意見書。

●自治体財政の確保と地方分権の確立を求める意見書
(日里 雅至議員外6名)

〔概要〕政府は、2013年度予算編成にあたり、地方に対し国家公務員と同様に給与削減に見合った地方財源を確保したとしているが、地方との十分な協議を経ないまま地方交付税を一方的に削減し、政策目的の達成手段として用いる今回のような措置は、地方の自主決定を制限するもので

あることから、地方の主権を侵すことのないように求める意見書。

●ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書
(大栗 民江議員外5名)

〔概要〕脳脊髄液減少症は、交通事故、スポーツなどによる頭頸部や全身への衝撃により脳脊髄液が漏れ続け頭痛、めまい、耳鳴り、思考力低下等様々な症状が複合的に発症する疾病だが、症状の原因が特定されない場合が多く、患者本人の肉体的・精神的苦痛は計り知れない。このブラッドパッチ療法は、有用性は認められているが保険適用外であり、診断・治療基準も定まっていないことから、国に対し治療基準の定めと保険適用、25年度以降の診断・治療の確立に関する研究の継続、本人・家族への支援体制の確立、本療法に対し各都道府県に最低1ヶ所、先進医療認定施設を設置を求める意見書。